

さくらインターネット、100 GbE データセンターネットワークの実証実験に成功

自社運営のデータセンターでインターネットインフラサービスを提供するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：田中 邦裕）は、さくらインターネット研究所の検証環境において、次世代広帯域通信技術である 100 Gigabit Ethernet を搭載したサーバーによる、ソフトウェア・ルーティング接続の実証実験に成功しました。

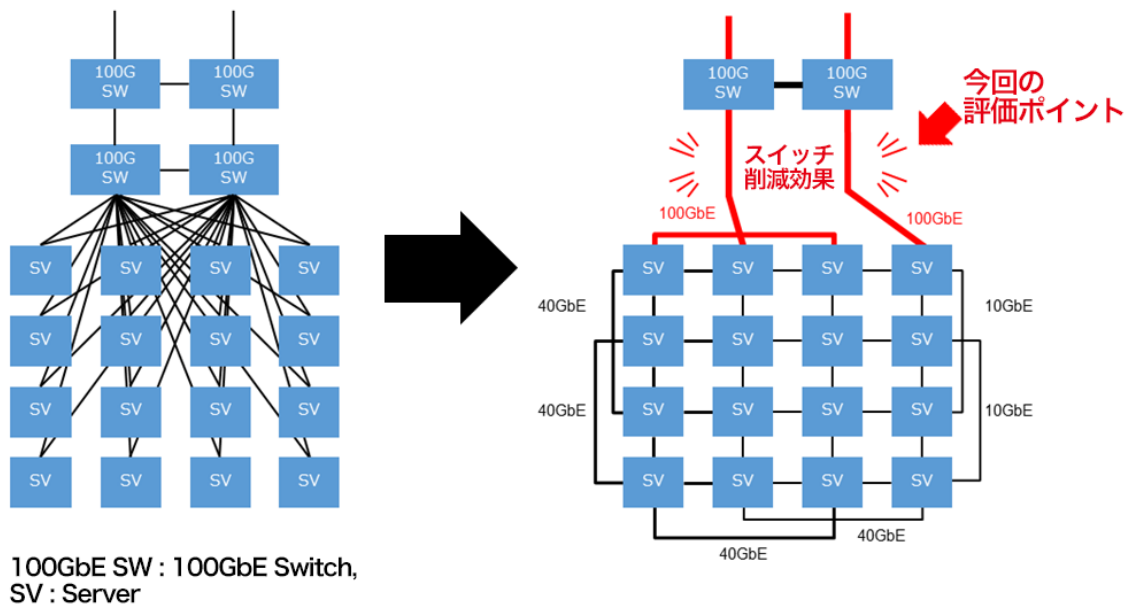
100 Gigabit Ethernet（以下、GbE）は、現在サーバー接続の主流として用いられている 10 GbE の 10 倍の転送性能を持ち、次世代データセンターでの利用に向けて普及が進められている技術です。

本実験は、現状普及している 10 GbE や 40 GbE と、100 GbE の混在したネットワーク構築を可能にする方法を探り、100 GbE NIC（Network Interface Card）での接続や、ソフトウェア・ルーティングを実現させ、近い将来、サーバーに求められるより広帯域なネットワーク接続へのスムーズな移行を実現するものです。

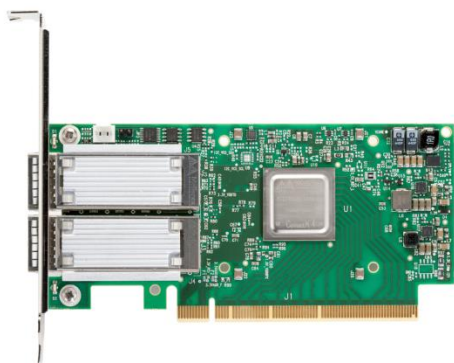
さくらインターネット研究所では、100 GbE 技術とソフトウェア・ルーティング技術を組み合わせることで、小規模で世代の異なるシステムをシームレスに増速する研究に取り組んでいます。今回の実証実験では、アルティマ社が提供するメラノックス社製の 100 GbE Dual Port NIC を利用し、従来スイッチを用いて接続する必要があった 10 GbE・40 GbE と 100 GbE を、ソフトウェア・ルーティングで代替する方法に成功しました。

▼ネットワーク構成（検証イメージ）

小規模で世代の異なるシステムをシームレスに増速する（すぐ使える 100 GbE LAN の世界）



▼100 GbE Dual Port NIC (株式会社アルティマ様よりご提供)



©2015 Mellanox Technologies. All Rights Reserved

今後もさくらインターネット研究所では、100 GbE 等を用いたより高速化されたコンピューティングシステムの研究に取り組んでまいります。

■「さくらインターネット株式会社」について (<http://www.sakura.ad.jp/>)

さくらインターネット株式会社は、日本のインターネット黎明期からデータセンター事業を展開しており、通信環境を左右する回線容量は、国内事業者では最大級。「さくらのレンタルサーバ」「さくらのVPS」「さくらのクラウド」「さくらの専用サーバ」「リモートハウジング」など、コストパフォーマンスに優れたインターネットインフラサービスを幅広いラインナップで提供しています。2011年には、北海道石狩市に省エネルギー型の「石狩データセンター」を開所し、現在では国内で5カ所のデータセンターを運営しています。

■「株式会社アルティマ」について (<http://www.altima.co.jp/>)

株式会社アルティマは、技術商社マクニカグループの1社として1991年に設立され、日本市場へ半導体をはじめとする世界の最先端で高性能な製品の販売、サービスおよび技術支援を提供しています。同社は設立当初より米国アルテラ社のCPLD/FPGA製品の販売において、世界をリードするディストリビュータの1社であり、アルテラ社製品を使用した開発のサポート、技術サポート、プログラミングおよびその他トータル・サポートを提供しています。

また、通信機器、産業機器、デジタルコンシューマ機器、コンピュータ・ストレージ装置、OA機器、クラウド・データセンターなど、幅広いアプリケーションをターゲットとする多種多様な先端製品を取り扱い、同様に技術サポートを提供することにより、更なるトータルソリューションをお届けしています。

以上

■さくらインターネット株式会社について

本 社：大阪市中央区南本町1丁目8番14号

設 立：1999年8月17日（サービス開始：1996年12月23日）

従業員：331名

資本金：8億9,530万円

売上高：105億7,600万円（平成27年3月期）

URL： <http://www.sakura.ad.jp/>

■この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 広報宣伝室

TEL：03-5332-7072 E-mail：press-ml@sakura.ad.jp